

STAY OR GO

SUMIKO

エキス

現在美 詩 カネコ ケン

現在たっている場所は、あなたを救うためにある
まったく気づかないなんて そんな顔している
ああ じゃまな視界を ええ無視して歩く
そう そんなやつでも 愛してほしいと願ってる

現在たっている場所は、あなたを救うためにある
まったく気づかないなんて そんな顔している
ああ じゃまな視界を ええ無視して歩く
そう そんなやつでも 愛してほしいと願ってる
鏡を透かしてみればわかる 空気がいつもと違うことを
存在 実体 まざりどける 現在美の中で

blue 詩 カネコ ケン

乾いた思いはブルーに染まる 僕のずれた夏
足りない景色を眺めて笑う 晴れた日の中で 笑う
明日の約束は、なくてかまわない
今から始めよう 聞こえる瞬間を
ふざけた気持ちは浮かんでできない 通り過ぎた夏
なんにもないけどひたすら食べる 晴れた日の中で 食べる
明日の約束は、なくてかまわない
今から始めよう 聞こえる瞬間を
乾いた思いはブルーに染まる 僕のずれた夏
足りない景色を眺めて笑う 晴れた日の中で 笑う
手をとってあげるから 連れだって今すぐに
どこかへ逃げるから 受けとってこの色を



初めてLIVEを観た時('95.11.24.浅草橋観劇)の衝撃はかなり大きくて、私はメンバーがステージを下りても動けず、ただただ沈黙という状態だった。頭の中は「すげー」という言葉しかなかった。それも、興奮状態の「すげー」というよりは、自分自身にヤバイ(こんなことをしては)という感じの「す・ごい・な」。歳とか、本当は関係ないんだけど、こんなすごいことを自分と歳の近い人(20代前半)がやっているって部分でのショックは大きかった。

LIVEをみるのが好きで、プロ、アマ問わず色々なバンドのLIVEを観てきたけど、中でも抜きに出て史上最強だと思った。ステージにかかるテンションが、生半可なものじゃなくて、こんなに濃度の濃いというか、気迫みたいなものが感じられるバンドは、無かったから。

LIVEの度に思うけど、このテンションの高さは他に類をみない。何年もバンドやっても出せないような、努力しても出せないかもしれないぐらいのものが、エキスにはある。いとも簡単にやってのけるっていうよりは、初めから意識しなくても備わっていたという感じさえ受けるぐらい、それは自然なものとしてある。

エキスって形から入ったバンドっていう印象をあまり受けない。〇〇に憧れてバンドをやり始めたとか、きつこういうバンドが好きなんだろうとか、を感じない。「家では音楽を聴かないし、もともとバンドマンじゃないんですよ」と作詞作曲を手がけるボーカルのカネコは話してくれたけど、それがエキスのオリジナリティーにつながっているように思う。まささらなところから生まれる音楽って感じがすごく良い。新曲ができる度にも感じるんだけど、もともとあった絵に色を加えていくとか、バックの色はそのままとかじゃなくて、一から白い紙の中に描いていく感じを受ける。

音楽(楽曲、演奏、ステージの姿など全てを含む)を聴いていると、何が大切とか、いらないものとか、信じるものとか、音楽を通してみえてくるものがある。だからあんまりLIVEがひどいと見に行かなくなるバンドってあるけど、ここの部分で揺るがない限りそういうことはないと思う。

共感と呼ぶ詞というよりは、物事の本質を思わせるような、冷静に現実を見据えたカネコの詞に加え、最近の、曲はめちゃくちゃかっこよくなってきたり、演奏がグレードアップして、音が厚くなったことによってバンド全体がしまった感じになってきた。音がしっかりきてきて大人になったなーって感じる。

LIVEをみる度に成長し続けていることがわかるから、その度に「すげいな」って思うし、そんなエキスと自分自身を照らし合わせて「まだまだ」と思ったり、あまりのすごさに「自分は何者でもない」って事を思い知らされてケチンって立ち直れなくなることもあるけど、煮詰まったときなんかは、刺激を求めてLIVEにいこう！ってなる。

そういう意味では結構、生活必需になってるバンド。

7曲入りデモテープ 『現在美』 発売中 *
* 収録曲：スタイル/ドア/バランス/まぐれの中/ *
* リアル/現在美/ブルー *



Ba) 小穴 雅仁

Vo) カネコ ケン



G) 青木 寿幸

Dr) 三浦 育稔

エキス企画「アホの天国」

4月11日 下北沢屋根裏
出演 エキス/眼球駆楽舞/フリー
スラップ スティックバス